



市民公開講座

「NO！卒中市民公開講座」を開催しました



脳卒中センター長 今井明医師

栃木県では脳卒中の死亡率が、全国でも常に上位を占めており脳卒中の対策が重要な健康問題になっております。当院では平成25年4月に栃木県内で2番目の脳卒中センターを開設し、脳卒中の診療を積極的に行ってまいりました。今回初めて、地域住民を対象に、脳卒中の中でも特に症例の多い脳梗塞（全体の70%）をテーマにその予防・診断治療について「NO！卒中市民公開講座」を平成27年1月24日に開催いたしました。

参加者は、定員150名のところ165名におよび盛況を呈しました。司会は、脳卒中センター長神経内科の今井明先生が務め、まず栃木県における脳卒中の現況を説明しました。神経内科の富保和宏先生は脳梗塞の

概要と実際の症例を提示し、入院した際の検査や治療を説明しました。次に、脳卒中リハビリテーション看護認定看護師の佐藤郁美看護師より入院患者用の「脳卒中生活指導パンフレット」を基に、脳卒中を防ぐための注意点を説明しました。受講者は、パンフレットをめくりながら動脈硬化の危険因子や不整脈（心房細動）について勉強しました。続いて、脳神経外科の中務正志先生より脳梗塞の予防・内科的治療の後に控える外科的治療として、動画を使ってカテーテルを使う血管内治療の実際を説明しました。受講者からは、「分かりやすい」と好評でした。脳卒中に関する講座は、当院では初の試みでしたが、大変好評でした。来年度も開催を予定しています。



冬の恒例行事

院内コンサートを開催しました



栃木県立宇都宮女子高等学校合唱部

平成26年12月25日にはクリスマスコンサート、平成27年2月4日はウィンターコンサートと、冬の恒例行事である2回のコンサートを開催しました。

クリスマスコンサートでは、毎年、栃木県立宇都宮中央女子高等学校の合唱部に出演頂き、緩和ケア病棟・エントランスホールで素晴らしい歌声とハンドベルの演奏を聴かせて頂いています。この日は、当院の看護専門学校校歌から始まり「もろびとこそりて」「きよしこの夜」などハンドベルの演奏も交えて約1時間、

澄んだ歌声を披露して頂きました。アンコールの「ふるさと」では一緒に口ずさむ方も多く、ご来場の皆さんが高校生たちから元気と感動をもらえたようです。

またウィンターコンサートは、職員で結成されている管弦楽クラブ「さいみやメロディカル」が演奏を披露しました。ディズニー映画「アナと雪の女王」より「ありのまま」など小さなお子さんから大人の方まで楽しめる曲を計6曲披露され、盛況のうちにコンサートは幕を閉じました。



さいみやメロディカル